

製品別比較表

2025年4月改訂

商品名	プロプラノロール塩酸塩錠 10mg 「ツルハラ」	インデラル錠 10mg
会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	6.60円/錠	10.40円/錠
薬効分類名	不整脈用剤/212	
組成	1錠中プロプラノロール塩酸塩 10mg 含有	
性状	白色の割線を有する素錠 識別記号：TSU001 直径：約 6.0mm 厚さ：約 2.5mm 質量：約 90mg	割線のある白色・円形の素錠 直径：約 6.5mm 厚さ：2.3～2.7mm 質量：約 0.11g
添加物	乳糖水和物、バレイシヨデンブ、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	D-マンニトール、ゼラチン、ステアリン酸、ステアリン酸マグネシウム
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○本態性高血圧症（軽症～中等症） ○狭心症 ○褐色細胞腫手術時 ○期外収縮（上室性、心室性）、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動（徐脈効果）、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防 ○片頭痛発作の発症抑制 ○右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制 	
用法・用量	<p>〈本態性高血圧症（軽症～中等症）に使用する場合〉 通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として1日 30～60mg より投与をはじめ、効果不十分な場合は 120mg まで漸増し、1日 3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>〈狭心症、褐色細胞腫手術時に使用する場合〉 通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として1日 30mg より投与をはじめ、効果が不十分な場合は 60mg、90mg と漸増し、1日 3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>〈期外収縮（上室性、心室性）、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動（徐脈効果）、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防に使用する場合〉 成人 通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として1日 30mg より投与をはじめ、効果が不十分な場合は 60mg、90mg と漸増し、1日 3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p> <p>小児 通常、小児にはプロプラノロール塩酸塩として1日 0.5～2mg/kg を、低用量から開始し、1日 3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。効果不十分な場合には1日 4mg/kg まで増量することができるが、1日投与量として 90mg を超えないこと。</p> <p>〈片頭痛発作の発症抑制に使用する場合〉 通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として1日 20～30mg より投与をはじめ、効果が不十分な場合は 60mg まで漸増し、1日 2回あるいは3回に分割経口投与する。</p> <p>〈右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制に使用する場合〉 通常、乳幼児にはプロプラノロール塩酸塩として1日 0.5～2mg/kg を、低用量から開始し、1日 3～4回に分割経口投与する。なお、症状により適宜増減する。効果不十分な場合には1日 4mg/kg まで増量することができる。</p>	
溶出挙動の同索性	<p>プロプラノロール塩酸塩錠 10mg 「ツルハラ」につき、標準製剤（インデラル錠 10mg）を対照として、下記に示す4種試験液を用いて溶出試験を実施した結果、プロプラノロール塩酸塩錠 10mg 「ツルハラ」の溶出パターンは、標準製剤と同等であった。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>図1 水</p> <p>図2 pH1.2</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>図3 pH4.0</p> <p>図4 pH6.8</p> </div> </div>	